

【3】-3. 商品種別登録

商品マスタ、伝票入力で指定する商品種別を登録します。

Point

- ・ システム導入時より予め登録されている商品種別の削除は出来ません。名称変更のみ可能です。
- ・ 伝票の明細で指定する商品種別によって、入力項目が変わります。
- ・ 売上側(受注入力、売上入力など)では商品種別分類によってレンタル、販売などで動作が変わりますが仕入側(発注入力、仕入入力など)では全て「販売」と同様に動作します。

a) 商品種別マスタの項目説明

項目名称	説明	桁数	必須
商品種別分類	リストより選択して下さい。 選択した内容により、入力画面での動作が変わります。 登録後の変更はできません。	-	○
内訳区分	売上内訳表での割り振りを設定します。 売上内訳表では指定した内訳区分にしたがって、 振り分けられます。 但し、「レンタル」は同じ明細行に仕入先が指定さ れている場合、それぞれ「Wレンタル」に振分られます。	-	○
コード	商品種別のコードを指定します。 登録後の変更はできません。	半角英数3桁	○
名称	商品種別名を指定します。 現在のところ、使用される箇所はありません。	半角英数カナ20桁	○
略名	商品種別略名を指定します。 選択リストに表示される名称です。 各伝票類、帳票類に印字されます。	半角英数カナ8桁 全角文字4桁	○
表示順	リスト表示される順番を指定します。 同じ表示順を設定した場合、コード順で並びます。	0～255の範囲で指定	

b) 商品種別分類の説明

販売系

販売・・・ 消耗品、工賃など単純に販売して終わりの明細で指定します。

商品マスタの販売単価が採用されます。

減損・・・ 商品の破損を請求する場合に指定します。商品マスタの減損単価が採用されます。

レンタル系

	採用単価	金額算出方法	請求期間
一括	一括単価	数量×単価	納入月のみ
日極一括	日単価	数量×単価×日数	納入月のみ
日極	日単価	数量×単価×日数	返却があるまで
月極	月単価	数量×単価×月数 端数日数がある場合、月数が切上されます	返却があるまで
月極比較	月単価、 日単価	1ヶ月目、2ヶ月目で 日割単価にて計算するほうが安い場合 …数量×日単価×日数 月単価に計算するほうが安い場合 …数量×月単価 ※ 2ヶ月目で月単価を採用することになった場合、 前月分をマイナス計上 + 数量×単価÷30×(開始日～請求期間終了日までの日数) ※日数は応当日計算 3ヶ月め以降 数量×単価÷30×(請求期間開始日～請求期間終了日までの日数)	返却があるまで
月極日割	月単価	数量×単価÷30×日数	返却があるまで

- ・ 受注伝票でレンタルの種別を指定して出荷すると、商品の在庫は配達日で減少します。
返却入力すると、返却日で増加します。
- ・ 一括、日極一括は初月に1回だけ売上計上します。
- ・ 月極比較は金額調整のために2ヶ月めに赤明細を作成することがあります。
- ・ 得意先の決算日で締切処理を行った後に、通常の月締処理を行った場合や、通常の月締範囲内で返却入力した場合、「月極」の売上金額0円で計上されます。(既に請求済みのため)
- ・ 受注入力で算出した金額と、実際に売上計上される金額は変わる場合があります。
これは、受注入力では金額を期間通して算出するのにたいし、売上では締日単位で金額の算出を行うためです。

Point

- ・ 仕入側(発注入力、仕入入力)では仕入先マスタの販売単価種類で指定された単価が初期表示されます。仕入先マスタの販売単価種類の初期値は「標準仕入単価」です。
(運用設定や伝票機能で設定している場合、仕入先別の単価または最終仕入単価が商品マスタの単価に優先されます。詳しくは商品登録または得意先・仕入先別商品単価登録のマニュアルを参照して下さい。)